

こおりやま広域圏の市民活動を応援する広報誌

あしすとはあく

第62号

2021年3月1日発行

発行：郡山市市民活動サポートセンター
(愛称：アシストパーク郡山)

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

市民活動と東日本大震災、東京電力福島第一原子力発電所事故

3.11 から 丸10年

東日本大震災発生 2011年3月11日14時46分 マグニチュード9.0

～あの時、今、そして未来へ～



女性の悩みに寄り添う

震災から10年、社会を変えるべく、地域へ予防教育

プログラムを提供するネクストステージへ！

NPO 法人ウィメンズスペースふくしま



福島の子どものために

「ひとりの子のいのちを守る」ために、協力と参加を

常に呼びかけてきた。10年後のゴールに向かって！

NPO 法人 FUKUSHIMA いのちの水



地域の絆を取り戻す

心から願った「奇跡の紫陽花」を育て、全国の子ども

たちに受け継がれた。10年の歳月が絆を再生！

藤沼湖自然公園復興プロジェクト委員会

女性の悩みに寄り添う

NPO 法人ウィメンズスペースふくしま



NPO 法人ウィメンズスペースふくしま

代表理事 後藤 美津子さん (写真右)

理事 苅米 有希子さん (写真左)

あの時
後藤さん 活動の経緯は、2007年7月に任意団体「女性の自立を応援する会」を設立し、郡山市男女共同参画センターで活動を始めました。
 東日本大震災・東京電力福島第一原子力発電所事故の発生に伴い、郡山市にあるビッグパレットが避難所となりました。私達も、避難状況の改善のために運営に参加し、避難所でのプライバシー



写真提供：ウィメンズスペースふくしま



写真提供：ウィメンズスペースふくしま

あの時
 が保たれていない状況の改善を図るために他団体と協力して、女性専用スペースの開設・運営を行いました。
 翌年、内閣府主催の「女性のための電話相談・ふくしま」や託児付き茶話会「ママ友さろん」の事業の担い手として依頼を受けました。これを機に、より女性がDVや様々な性差別に苛まれずに安心して暮らせる地域社会の実現をミッションに掲げNPO法人になりました。

3月11日で、東日本大震災・東京電力福島第一原子力発電所事故から10年の節目を迎えます。今号では、市民活動団体の目線で「3・11から丸10年、あの時、今、そして未来へ」と題してお話を伺いました。

そして未来へ

今

福島の子どものために

NPO 法人 FUKUSHIMA いのちの水



NPO 法人 FUKUSHIMA いのちの水

代表理事 坪井 永人さん



写真提供：FUKUSHIMA いのちの水



写真提供：FUKUSHIMA いのちの水

苅米さん 震災から、10年が経ち相談者に寄り添うことで、感謝の言葉をいただくこともあり、非常に大切な活動です。
 NPOとして重要な社会課題の解決には、予防教育の重要性を痛感しています。
 今後は、若年層の相談や教育機関と連携し、DV防止、男女平等社会に向けたプログラムを提供をしていきたいと考えています。

あの時

坪井さん 東日本大震災が発生した際に、私は牧師としての所用で東京におりました。翌日、超党派による災害支援緊急援助隊「アガペーCGN」が組織されました。
 私は、3日間かけてなんとか郡山に戻り、アガペーCGN福島県支部として、全国からの救援物資を県内浜通り、名取、仙台へ届ける活動を行いました。
 5月になると被災3県の中で福島の状態の違いが見えるようになりました。多くの親御さんから、子どもへの放射能に対する不安の声が聞こえはじめ、子ども達を救う活動を継続するためにNPO法人を設立しました。
 2012年5月より郡山駅の近くの教会で、水や食料などの定期配布を始めたのですが、希望者が増え続け、500家族を超えるようになりました。受け入れ物資を増やしながら、駐車場の問題も含め、移動先を探すこととなりました。

坪井さん 2015年4月より、現在の逢瀬町で配布を継続し行っています。現在は、毎月、約800家族の利用があります。

また、2014年に東京にあるフードバンク（ハーベスト・ジャパン）と連携し、フードバンク事業にも取り組んできました。元来、フードバンクは、キリスト教会に根差した何千年も続く、民間のセーフティネットです。

県内の企業などへ、子どもたちのために食料品の提供などの支援を呼びかけましたが、厳しいものでした。そこで食品ロスの視点に注目し、大企業に向けて、備蓄品を引き受けるという内容で打診したところ、大きな反応があり現在につながっています。

震災から10年が経過し、設立当初から助成金活用の弊害を感じ、NPOならではの協力者・ボランティアメンバーを募って参りました。民間の立場で自由に声を出せる立場が大切です。

そして未来へ

10年の間に様々なことがありました。問題にぶつかると、知恵を絞り、情報を集め、考え・行動してきたのは、ひとりの子のいのちを救うためです。

震災の時に生まれた子どもたちが成人するまで継続していきます。

地域の絆を取り戻す

藤沼湖自然公園復興プロジェクト委員会



藤沼湖自然公園復興プロジェクト委員会

委員長 深谷 武雄 さん



写真提供：藤沼湖自然公園復興プロジェクト委員会

あの時

深谷さん 東日本大震災が発生、地震により藤沼湖の本堤が決壊し、内陸でありながら、極めて大きな犠牲を出した水害事故となり、全国ユースでも大きく取り上げられました。

この震災のダメージで壊れた地域の絆をなんとか取り戻せないかと2012年9月に復興プロジェクト委員会を立ち上げました。

当初は、反対の声などがありました。そうした声も踏まえた上で、復興へ道標となるものは見えていませんでしたが、前に進んで行かねばならないと強く感じたのです。

2013年には、藤沼湖の改修工事前に「藤沼湖の湖底を歩く会」を開き、地域の住民に向けてイベントを開催することにしました。事前に委員などで開催した下見会をした際に、水の無い湖底に群生している植物を発見したのです。

あの時

「紫陽花ではないか」藤沼湖が出来て60年間、湖底に沈み眠っていた紫陽花を畑に移植し育てることにしました。

これは私たちの復興プロジェクトのシンボルになるのではないかと、期待と祈りを込め「奇跡の紫陽花」と名付けました。

その後、新たな取り組みとして実施した「奇跡の紫陽花」の里親募集は、全国ユースで報道され、北海道から沖縄までたくさんの方から親希望の申し込みがありました。

震災から10年経って感じるのは、この10年間は、私達にとって必要な時間だったということです。

今後に向けて、新たに出てきた大切なつながりを持続し、「奇跡の紫陽花」のストーリーを伝えて続けていくことが重要です。

そして、次代の子ども達に私達の経験から学んだメッセージ「備え、支え、伝え」の想いを繋げていきたいと思っています。

NPO法人ウィメンズスペースふくしま
NPO法人FUKUSHIMAいのちの水
藤沼湖自然公園復興プロジェクト委員会

特集の拡大版

Web で閲覧出来ます！



マチヅクリ マッチング ヒロバ

協働のまちづくりの情報提供とマッチングを行っています
【募集している物】現在以下の物品寄附を募集しています。
・会議用長机・折りたたみ椅子



郡山市市民活動サポートセンター

ボランティア活動を始めようと思う方へ

団体

- ・ボランティア活動って？
- ・ボランティア活動を始めるには？
- ・どんなボランティア活動があるの？



社会福祉法人福島県社会福祉協議会

市民活動団体向け Zoom 活用ミニ講座

市民活動団体のデジタル化推進を目的として、郡山市市民活動サポートセンターにて、Zoomの使い方をご案内しています。(完全予約・団体のみ)



郡山市市民活動サポートセンター

速習講座「～愛とロマンの～万葉集を知る

団体

日時：2021年3月13日(土) 14:00-16:00
場所：郡山市総合福祉センター
講師：古典文学研究家 金澤 武男さん



認定NPO法人ふくしま成年後見センター

ぼんじょいの会ボランティアメンバー募集!

団体

地域の絆を取り戻すため居場所づくり活動をしています。それぞれの取り組みの運営ボランティアメンバーとして参加いただける方を募集しています。



ぼんじょいの会

助成金情報 郡山市市民活動サポートセンター



助成金情報を Webで閲覧できます



郡山市市民活動サポートセンターでは、市民活動団体の活動情報等を募集しています。

市民活動団体の広報力をアップ!

市民とつながるNPOポスター展は、市民活動団体の皆様の広報力アップをするために、サポートセンターが、ポスター制作をサポートします。活動が市民に届くポスターを一緒に作りましょう!



広報力のアップグレード!市民に伝えよう!

NPOポスター展への参加を希望される団体は、郡山市市民活動サポートセンターにご連絡下さい。
※ポスター展の参加は登録が必要となります♪

発行 郡山市市民活動サポートセンター

開館時間 8:30-17:15 休館日 土、日、祝日、年末年始
電話/FAX 024-924-3352
メールアドレス ap@utsukushima-npo.jp
ウェブサイト https://assistparkkoriyama.net/
住所 〒963-8601 福島県郡山市朝日一丁目23番7号 郡山市役所 西庁舎3階

運営委託 郡山市市民部市民・NPO活動推進課
運営受託 NPO法人うつくしまNPOネットワーク

地域課題の専門相談会

無料

専門相談会

相談無料

- 多文化共生社会の実現
- クラウドファンディング活用
- SDGsの推進

2021年3月の開催日



相談テーマ 多文化共生社会の実現

専門相談員 3月23日(火)

三田 真理子

①13:30-14:15 ②14:30-15:15 ③15:30-16:15



相談テーマ クラウドファンディング活用

専門相談員 3月25日(木)

中瀧 亮兵

①13:30-14:15 ②14:30-15:15 ③15:30-16:15



相談テーマ SDGsの推進

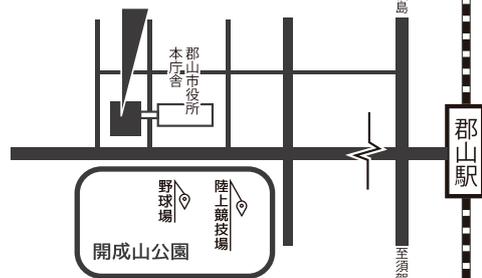
専門相談員 3月26日(金)

加藤 志津佳

①13:30-14:15 ②14:30-15:15 ③15:30-16:15



郡山市役所 西庁舎3階



MAP

Web

Twitter

Facebook

